

# 子供たちに教えられた体験学習

## 茨曾根小学校・道徳教育の実践指導研究 ①

今、茨曾根小学校（笠原正義校長、全校児童 168人）で、道徳教育の実践力を高めるためのいろいろな研究が行われています。この研究は、同校が昨年度から県小学校教育研究会と市の教育委員会の指定を受けて、取り組んできているもので、道徳教育の充実を主なねらいとしています。

### 道徳教育の目標

道徳教育の目標は、教育基本法に定められた教育の根本精神に基づき、すなわち、道徳教育は、人間尊重の精神を家庭、学校がその他社会における具体的な生活の中に生かし、個性豊かな文化の創造と民主的な社会及び国家の発展に努め、進んで平和的な国際社会に貢献できる日本人を育成するため、その基盤としての道徳性を養うことを目標とする。

道徳の時間においては、以上の目標に基づき、各教科及び特別活動における道徳教育と密接な関連を保ちながら、計画的、発展的な指導を通してこれを補充、深化、統合し、児童の道徳的判断力を高め、道徳的心情を豊かにし、道徳的態度と実践意欲の向上を図ることによって、道徳的実践力を育成するものとする。

小学校学習指導要領より抜すい

「おじやまします校長先生。実は、お宅の学校で今、取り組んでいる道徳教育の研究実践について、広報で紹介しようと思っ

「まあ、私共が話すより、九日に五年生の公開授業がありますから参観してはどうですか。」  
「帰りにこれまでの資料をいただいて校門を出るが、なんとまあ、取材しにくい企画を立てたものかと、チョッピリ後悔の念も……。」  
「さっそく、中間検討会の資料や学校指導要領での『道徳』について乱読。ますます自信喪失気味。」

### 「こんにちは」に気も楽に……

九日の公開授業の日。茨小に向かう足どりも重く、「きつと登校拒否の子供たちもこんな気持ちなんだなあ」などと勝手に想像しながら玄関へ。  
下級生は研究会のために早あがり。みんなニコニコしながら出てきます。「こんにちは」。シヨボくれた私の姿に同情したのか、元気に声をかけてくれました。「ヤッ、こんにちは」と、あいさつを交わしているうちに、「そういえば



一生懸命に運動会の練習をする茨曾根小の子供たち

この研究の中で、地域ぐるみであいさつ運動のテーマがあったな。「いけるぞ」と、少しばかり気も楽に……。

すると四、五人の子供たちがたむろしています。「何やってるんだい」。「うさぎに帰りのあいさつさ」。飼育が良いのか丸々と太ったうさぎが二羽、愛らしい目で、クンクンと鼻を鳴らしています。これも指導要領の中で言っている「自然を愛護し、優しい心で動物や植物に親しむ」の指導成果の現われかなと、思わずつぶやきながら五年生の教室へ。

担任は末武倫子先生。新卒二年目で「がんばり屋さん」というの

### 「公共心・公德心で何だろナ」

この日の授業は「公共心・公德心」についてです。みんなの使う場所、みんなの遊具や図書などをどんな心がまえで使ったら良いのかを学習しました。

四日に、悠久山へ遠足に行った時の様子がスライドに映し出され、先生の「ごみがたくさん落ちていたね」の問いに「あつ、あのごみ

が職員評。クラスの児童数は二十四人で、男女各十二名。これまた担任に負けず、先生方に評判の良いクラスです。

源川白根地区指導主事をはじめ、各学校の先生方が教室の後ろにずらりと並びます。「起立、礼、回れ右。こんにちは」。幹世君の元気なかけ声で授業の始まりです。大勢の子供から一斉にこんなあいさつを受けるのは初めて。恥ずかしいやら、むずがゆくなるやらでも、この時は「先生もいいものだなあ」なんて、あさはかな考えも……。それが、一時間後には「先生って大変。ならなくて良かった」に百八十度の転換です。

「じゃあね、ほかの人が捨てたごみを進んで捨てた人は手を上げて

い理由の発表がありました。黒板に自分の思ったことを自由に書きます。

「人のごみまで自分がなんで拾わなきゃならないの（疑問型）。」「めんどくさい（ものぐさ型）。」「誰かが拾ってくれたらどう」（日和型）がおまかなベストスリーです。私も先生に質問されれば、きつとこの三つを書いたかも知れません。ただ、大人は口に出して言わないだけで、誰も心のかたすみかに

### 専門討議に「マイツタ！」

授業が終わって、先生方の検討会です。今日の授業の進め方、資料の選択などこれで良かったのか、休憩なしで二時間ぶつ通しの討議です。

「先生、質問の中で取り上げなかった点があるよ」「公共の場と言っても子供はわかるかな」「もつと子供たちが参加する授業を」「仮設部分の肉付けと具体的事例をもつと入れては」と、矢つぎばやに質問や助言が。それも建て前論でなく本音のぶつかり合いです。

末武先生がかわいそうで、何か同席させてもらっていることが、心苦しい気さえしてきました。「私自身、自分の子供さえ満足に育

に、元気だった子供たちもだんまり……。」「一人もいなかったのかなあ」と、気をもんでいるとポツリ、ポツリと手が上がりました。

### 子供は親の姿を見て育つ？

「どうしてごみを捨てるんだらうか？」  
「めんどくさいからじゃない」

「ごみのために持ち物が多くなるから」「近くに捨てる場所がない」「少しくらいならいいと思うから」「他の人が捨てているから」など。大人も気を付けなければならぬことがボンボンと口をついて出ます。  
このころになると、先生と子供たちの息もピッタリで、授業も軽快なテンポで進みます。

「先生に言われてから拾った子では、さすがに全員の手が上がりました。」

「先生、質問の中で取り上げなかった点があるよ」「公共の場と言っても子供はわかるかな」「もつと子供たちが参加する授業を」「仮設部分の肉付けと具体的事例をもつと入れては」と、矢つぎばやに質問や助言が。それも建て前論でなく本音のぶつかり合いです。

末武先生がかわいそうで、何か同席させてもらっていることが、心苦しい気さえしてきました。「私自身、自分の子供さえ満足に育

「先生、質問の中で取り上げなかった点があるよ」「公共の場と言っても子供はわかるかな」「もつと子供たちが参加する授業を」「仮設部分の肉付けと具体的事例をもつと入れては」と、矢つぎばやに質問や助言が。それも建て前論でなく本音のぶつかり合いです。